



繁栄を築く未来の礎

やらまいか

平成 30 年 7 月号 VOL 094

経済産業省認定経営革新等支援機関

丸野税理士事務所

税理士 丸野 由照

税理士 丸野 智男

〒430-0906 浜松市中区住吉二丁目 14 番 24 号

TEL:053-472-2204 (代表) / FAX:053-472-5170

メールアドレス:maruno-kaikei@maruno.com

HPはこちらで→

税理士 丸野 |

検索



労働保険とは、労災保険と雇用保険を合わせたもので、従業員の雇用等を守る制度です。労災保険は、仕事中のケガなどで働けなくなった場合に療養費を補償することや死亡した場合に給付金によって遺族の生活の支援を行います。労災保険料は、事業主がすべて負担し、一方、雇用保険は、失業した場合や育児・介護等で働けなくなった場合に収入の減少などによる所得の補償をするための支援を行います。雇用保険料は、事業主と従業員が負担します。労災保険・雇用保険は、手続きをしないと加入することができませんので注意が必要です。

痛快! えだまめ君

画:ほりひろみ



知って! 「税務のマメ知識」

【イートインは10%でテイクアウトは8%】

来年の平成31年10月1日に消費税率は10%に引き上げられます。引き上げの際には、特定の品目だけを8%に据え置く軽減税率制度も実施されます。気になるその「特定の品目」ですが、酒類・外食を除く飲食料品と週2回以上発刊される新聞(定期購読契約に基づくもの)が対象になります。例えば夕食用にスーパーマーケットで購入する肉や野菜、牛乳やパンなどは軽減税率の対象になります。一方、レストランやハンバーガーショップなどのお店で飲食をした場合は、軽減税率は適用されません。ただし、そこでテイクアウトしたハンバーガーなどは軽減税率が適用されます。また宅配ピザで注文したピザなどは軽減税率が適用されますが、ケータリングを利用した場合は適用されません。このように対象品目の線引きがさまざまなので購入者も混乱しそうですが、売る側のお店はそれ以上に混乱しそうです。取り扱う商品などによっては、複数の税率を使い分けなければいけないケースも出てくることでしょう。またそれによりレジや受発注システムを、新たに導入しなければいけないかもしれません。このような対応が必要になる中小企業や小規模事業者等には、その経費の一部を補助する「軽減税率対策補助金」という制度があります。まだ1年以上ありますが、今から準備を進めていきましょう。



365日 が楽しくてたまらない! 「商売のヒント」

今月の商売のヒント：【商売のT/R比バランスは保たれていますか？】

夏の日差しを受けて植物がぐんぐんと育つ季節。見上げるほどの大木を見ると、さぞかし根っこも立派なのだろうと想像します。植物の世界には「T/R比」という法則があります。地上に見えている幹や茎や葉の部分（Top）と、地下にある根っこの部分（Root）の重さの比率はほぼ一定でバランスを保っているという法則です。健全に育っている植物のT/R比は3～4。もしも根っこが切れてしまったら、樹木は自ら枝葉を落として正常なT/R比を保とうとするそうです。逆に枝葉が折れてしまったら根の量を減らしてバランスを保つという自然界の不思議な法則です。地上に見えている部分は全体の7割くらいですが、大きな木を支えているのは言うまでもなく根っこの部分。見えていない3割が地下で木を支えているわけです。根っこが十分に発達していないと木は倒れてしまいます。



地下で根っこが深く広く根ざしていくほどに、地上では幹や葉っぱが縦に横にと伸びていく。

書籍『奇跡のりんご』で知られる木村秋則さんが「植物を手本にして生きれば、間違いはない」と言うように、植物だけでなく勉強でもスポーツでも商売でも、根っこがしっかりしていることはとても重要です。



けれど、どうしても表面的なものを求めたり、目先のお金を追いかけてしまったりと、枝葉にばかり意識が向いてしまうことはありませんか。

それは商売のT/R比が崩れている状態でしょう。一見、華やかな成功を収めている人が、実は陰で人の何倍も努力していたという話は美談で終わりがちですが、表面的な結果が大きければ大きいほど見えないところでしっかりと根を張っていることを、改めて心に刻んでおきたいものです。

ところで「大地にしっかりと根を張って」という話をすると、その大地がもともと荒れ果てていたら根の張りようがないと返す人がいます。何でも環境のせいにしては、根を張る前に種まきさえもできません。数ミリでも隙あらばコンクリートの割れ目からも顔を出す雑草のたくましさまぶしく感じられます。

今さら聞けない 経済用語

今月の教えてキーワード：【仮想通貨】

主にインターネット上でやり取りされる電子データのみの通貨のこと。日本円やドルなどの法定通貨は国家がその価値を保証し紙幣や硬貨という現物が存在するが、仮想通貨は国家による保証はなく現物も存在しない。ブロックチェーンなどの暗号化技術によって安全な取り引きができるとされている。ビットコインやイーサリアムが代表格で現在は約1600種類あるといわれ、迅速かつ格安の手数料で送金できるなどのメリットがある。

トレンドを斬る!

高速道路に宿泊施設を備えたサービスエリア（SA）が急増しています。特産品やグルメなどが旅の途中に楽しめると人気の

SAですが、宿泊施設やコインシャワーなどは長距離ドライバーに向けたサービスです。宅配荷物の増加に伴い人手不足に陥った運送業界で、負担を強いられたドライバーが安全で快適な運転ができるためのサポートが模索されています。観光目的のドライブでも物流を担う大型トラックでも、利用者たちのニーズを的確に捉えた進化は続いています。

